



岩井美保子議員

スキー教室と大山登山

成果があがっている

問 スキー教室と大山登山が継続されていることを誇りに思う。

(1) 参加児童に対して指導者が少ないのではないかと、スキー教室は日帰りコースであり、時間が不足で児童たちの達成感ももてる学習になっているのか。

(2) スキー教室と大山登山についての予算はいくらか。

答 (小原教育委員長) (1) 地域の自然に親しみ、大切に教育を進めるために、両方とも主要な行事として各学校で取り

組んでいる。

雪の上にスキーで立つ、まっすぐ滑る、止まる、曲がる、スピードアップする、そういうところで達成感を得ている。

大山登山は友達と励まし助け合いながら、頂上に立ったとき、その達成感を覚えている。指導者については学校に残った児童に支障のないよう努力している。大山登山は宿泊訓練も兼ねて行っている。ゲストテ

ィーチャー、地元の方、宿の方、ガイドの方等にお世話になりながら確保できている実情である。

答 (山田教育長)

(2) 予算額は31万8800円である。学校行事については保護者の負担もお願いしながら効率よくやっていきたいと考えている。

全国和牛能力共進会への取り組みは

親しみあふれる共進会にしたい

町民が参加できる取り組みの考えはあるか。

答 (山口町長)

伝統ある鳥取和牛を再確認する良い機会である。米子市のメイン会場では「大自然の恵みとつとりファーム2007」が開催され、県内特産品の販売、ふれあい動物

問 平成19年10月に第9回全国和牛能力共進会が鳥取県において開催される。

バランスシートの作成を

問 大山町の本当のことが知りたい。バランスシート(貸借対照表)の作成が不可欠であると考えが実行できないか。

答 (山口町長)

説明責任を果たす観点からは作成した方が望ましいが、今の状況では作業が困難である。大山町の懐具合等は当然公開し



全国和牛能力共進会

広場など様々なコーナーが設けられる。現在は牛の姿を見ることができながら事業を行っていく。

敬老会の見直し

問 平成17年度の対象者は3220人、出席者は1/3の1141人であった。2079人の方への対応を問う。見直しの考えはないか。

答 (山口町長)

合併しての方針で1年やってみた。これからその在り方を改めて協議す

くなっている、小・中学生にはこの機会に共進会への見学も検討していきたい。

ることが必要とされている。いろいろなご意見をいただきたい。

答 (山口町長)

うるさいというのも町民の声。時間が分かっていいというのでも町民の声。今しばらくこのまま対応したい。

問 10時と15時にチャイムを。